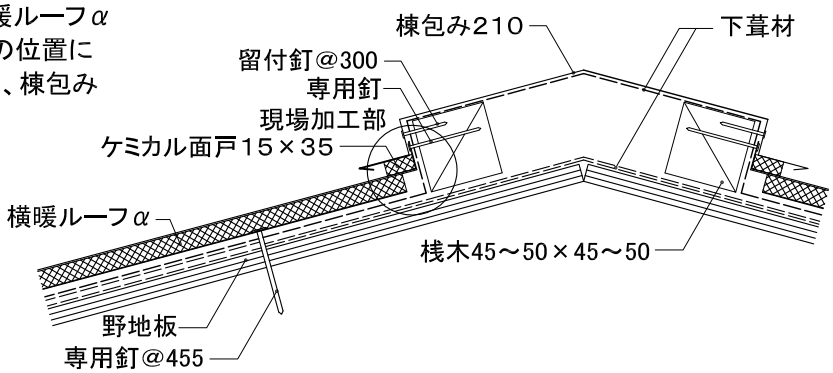
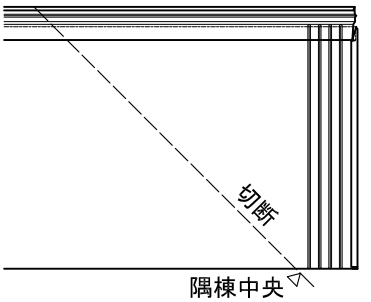
横暖ルーフα	工 法	下 地	構造
	新築	耐水合板	木造

7）隅棟部　　①棟包み210

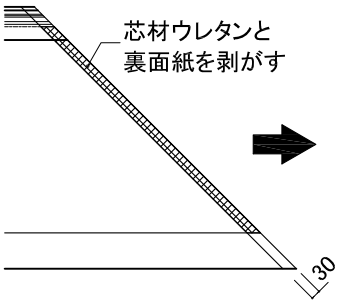
○棟包み210の適用勾配と桟木位置はP254をご参照ください。
○野地板の上に、下葺材を張ってください。
○桟木45～50㎜×45～50㎜を外側2ヶ所に取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りしてください。
※工事中は棟包み210に乗らないでください。工具・部材も置かないでください。棟包み210が変形するおそれがあります。
○隅棟部は図のように加工した横暖ルーフα本体を垂木に施工し、本体の図の位置にケミカル面戸15×35を貼り付け、棟包み210をかぶせてください。
棟包みは、留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を用いて300㎜以下の間隔で桟木に留め付けてください。
○剣先は下図のように施工してください。



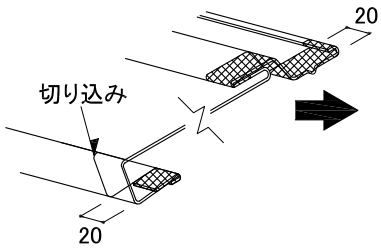
■施工ポイント・現場加工図
○横暖ルーフα本体の隅棟部分は図のように加工してください。



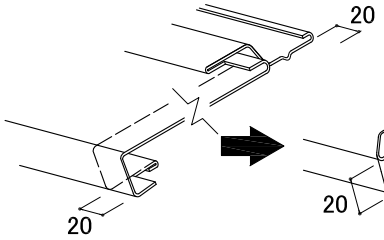
①隅棟カバー中央部の位置で切断します。



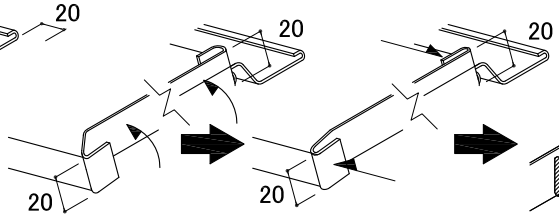
②端部から30㎜の位置まで芯材のウレタンと裏面紙を剥がしてください。



③網掛け部分を切り落とします。

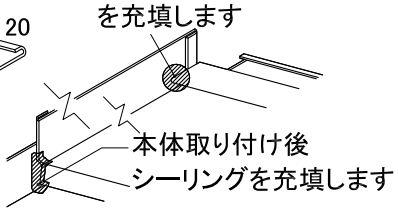


④切り込みを入れた部分から垂直に起こします。



⑤Rの部分をつぶします。

次の横暖ルーフα本体の取り付け前にシーリングを充填します



⑥接合部から雨水の浸入を防ぐためシーリングを充填してください。

■剣先の取り付け
○隅棟に棟包みを使用する場合は、剣先を図のように施工してください。

